**始末書 文例集（ケース別）**

**【ケース1：遅刻を繰り返した場合】**

**始末書**

代表取締役社長 〇〇 〇〇 殿

令和〇年〇月〇日

所属：本社 総務部 氏名：〇〇 〇〇　㊞

私は、この度の度重なる遅刻につきまして、深くお詫び申し上げますとともに、本書を提出し、重ねて陳謝いたします。

**1. 日時**

令和〇年〇月〇日、同〇月〇日、同〇月〇日

**2. 場所**

本社 総務部

**3. 不始末の内容と原因**

上記日時にわたり、計三回、自己管理の甘さから前日に夜更かしをしてしまい、寝坊による遅刻をいたしました。 これにより、チームの皆様の業務計画に遅延を生じさせ、多大なるご迷惑をおかけしましたことは、弁解の余地もございません。ひとえに、社会人としての自覚と責任感の欠如が招いた結果であり、深く反省しております。

**4. 違反した就業規則の条項**

就業規則第〇条第〇項（服務規律）

**5. 今後の再発防止策**

今後は、自身の健康と業務への影響を第一に考え、以下の対策を徹底し、二度とこのようなご迷惑をおかけしないことを固くお誓いいたします

一、毎晩〇時までに就寝することを徹底し、十分な睡眠時間を確保します。

一、起床時刻には、複数のアラームを設定するなど物理的な対策を講じます。

一、常に業務に対する緊張感を持ち、プロフェッショナルとしての自己管理を徹底いたします。

この度の件に関しまして、多大なるご迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。

以上

**【ケース2：会社の物品を破損した場合】**

**始末書**

代表取締役社長 〇〇 〇〇 殿

令和〇年〇月〇日

所属：本社 営業部 氏名：〇〇 〇〇　㊞

私は、この度の会社備品の破損につきまして、深くお詫び申し上げますとともに、本書を提出し、重ねて陳謝いたします。

**1. 日時**

令和〇年〇月〇日（〇） 午後〇時〇分頃

**2. 場所**

本社 営業部内デスク

**3. 不始末の内容と原因**

デスク上での飲食が禁止されているにもかかわらず、ルールを軽視し、飲料を飲みながら作業を行っていた私の不注意により、キーボード上に飲料をこぼし、社有物であるノートパソコン（管理番号：〇〇〇）を水没させ、修理不能の状態にしてしまいました。 幸い、全てのデータはクラウド上に保存されていたため情報漏洩等の二次被害には至りませんでしたが、会社の重要な資産を損なわせた責任は極めて重いものと痛感しております。

**4. 違反した就業規則の条項**

就業規則第〇条第〇項（服務規律）

**5. 今後の再発防止策**

今後は、会社の服務規律を改めて遵守し、二度とこのような事態を引き起こさぬよう、以下の対策を徹底することをお誓いいたします。

一、自身のデスクを含め、作業スペースの整理整頓を徹底し、安全な環境を維持します。

一、電子機器の周辺では一切の飲食を行わないことを固く誓います。

一、会社の備品は自身の物以上に丁重に扱うという意識を常に持ち、業務に臨みます。

この度の件に関しまして、多大なるご迷惑と経済的ご負担をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。

以上

**【ケース3：社用車で物損事故を起こした場合】**

**始末書**

代表取締役社長 〇〇 〇〇 殿

令和〇年〇月〇日

所属：本社 営業部 氏名：〇〇 〇〇　㊞

私は、この度の社用車による物損事故につきまして、深くお詫び申し上げますとともに、本書を提出し、重ねて陳謝いたします。

**1. 日時**

令和〇年〇月〇日（〇） 午後〇時〇分頃

**2. 場所**

本社 駐車場内

**3. 不始末の内容と原因**

取引先から帰社し、社用車（車両番号：なにわ 300 あ 12-34）を駐車場に入庫する際、後方の安全確認を怠ったことが原因で、右後部をブロック塀に接触させ、バンパー及びテールランプを損傷させてしまいました。 日頃から安全運転を心がけるべき立場にありながら、慣れと油断から確認作業を疎かにした、私の重大な過失でございます。この度の事故により、会社にご迷惑と経済的損害をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

**4. 違反した就業規則の条項**

就業規則第〇条第〇項（服務規律）

**5. 今後の再発防止策**

今後は、自身の運転が会社の信頼に直結することを肝に銘じ、二度と事故を起こさぬよう、以下の対策を徹底することをお誓いいたします。

一、運転前に必ず車両の周囲を確認し、死角を意識した安全確認を行います。

一、駐車や後退の際には、速度を十分に落とし、ミラーだけでなく直接の目視による確認を複数回行います。

一、少しでも体調に不安がある場合は無理な運転を控え、上長に報告・相談することを徹底します。

この度の件に関しまして、多大なるご迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。

以上